

市民の皆様とともに

武雄市長 樋渡 啓祐

新年あけまして

おめでとうございます

市民の皆様には、新たな年を健やかにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、4月の市長選挙において再び市政を担当させていただきこととなりました。本年も、引き続き市政へのご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

みんなの政策集

さて、市長選挙において掲げた「みんなの政策集」について、早速、そのいくつかについては昨年中に着手、実行に移すことができました。

例えば、病院への通院や買物に必要な移動手段がなく、日常生活にお困りの方々の新たな支援策として整備する「みんなのバス」の実験運行を開始いたしました。

また、結婚を望んでいても、出会いがないなどの理由でそれが叶わず悩んでおられる方々のお手伝い

をする「お結び課」、市民の皆様の健康を守るため、がんの早期発見に有効な検診をすすめる「がん検診率向上課」を設置いたしました。

新たな取組み

昨年は、市民の安心安全を最重要課題と位置付け、新たな取組みを実現してまいりました。

市民の皆様から寄せられた切実な声を受け止め、中学生までのインフルエンザ予防接種の助成をはじめました。また、子宮頸がんヒブ・肺炎球菌ワクチンの無料接種も新たに取組みました。

今後、市民の皆様の命と健康を守る施策を積極的に実行してまいります。

新武雄病院

昨年2月、市民病院は新武雄病院へと引き継がれ、以後、救急医療をはじめ医療環境は充実し、この間、病院も順調に運営されているところです。

現在、新武雄病院は国道34号

沿いに移転工事中で、いよいよ新春、開院の運びとなりました。

新病院のオープンは、武雄市の医療環境のさらなる向上にはもちろんのこと、敷地内に看護学校など関連施設も併設されることから、今秋に完成予定の北方町宮裾地区の工業団地と併せ、今後の市民の皆様様の雇用機会の拡大にも大きく寄与するものと期待しているところです。

「多聞第一」

私がこれまで市政を担当させていただき、強く実感することは、政策は机上で作るものではなく、市民の皆様方の声の中から見出すものであるということです。

ちよつと、今年の干支は、「兎うさぎ」でもあります。

年頭に当たり、本年はこれまで以上、多聞第一、うさぎのように耳を大きくして皆様の声に傾聴しつつ、着実な市政の推進に努めることをお約束申し上げ、私の新年のご挨拶いたします。



年頭のあいさつ

武雄市議会議長 牟田 勝浩

新年あけまして

おめでとうございます

皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新武雄市が誕生して五年目を迎えます。武雄市議会といたしましても市民皆様方のご理解とご支援をいただきながら、ぬくもりのあるまちづくりに努めてまいったところでございます。今後、更に市民の皆様の声を十分反映しながら、住みよい地域づくり、活力あるまちづくりに鋭意努力してまいりたいと思います。

さて、武雄市民病院につきましては、昨年2月1日から新武雄病院として新たなスタートを切ったところであり、患者様、市民の皆様への深いご理解とご支援により、順調に歩みを進めています。民間

法人へ移譲後も、武雄市民病院の機能はそのまま引き継がれることにより、地域医療は確保されますので、市民の皆様も安心していただけるものと思っております。

また昨年は9月に市内の独身男女の間のご縁をとりもつお結び課が設置され、新武雄病院のスタート、民間企業独身寮などを含め、流入人口の増加、若い世代の増加による高齢化率の鈍化、観光客の飛躍的な増加など明るい兆しが見られます。観光客数も年々増加をしています。

しかしながら、国内外の経済情勢は、昨年に引き続き円高ドル安の経済情勢の下、本市の魅力と市民サービスの質を高め、住みよい希望の持てる武雄市をつくっていくためには、市政運営に一層の創意と工夫が必要になります。

今般の地方議会を取り巻く情

勢は、地方分権の推進により、自治体の権限・役割が物理的に増大するとともに、事務事業の処理においても自主性・自立性が強化され、これに呼応して、住民代表機関としての議会の役割も、質・量ともに充実が求められているところでもございます。

武雄市議会といたしましても、引き続き創意工夫を重ね、開かれた議会を目指し、次代のすつ勢とともに多様化するニーズに応えるために、今後更なる努力を要するものと気持ちを新たにしているところでもあります。

期待と可能性を秘めたすばらしい武雄市を創りあげるため、今後とも皆様方の尚一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。ともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

